

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日 時：令和7年2月7日（金曜日）10時00分～11時00分

場 所：しおさい会議室

出席者：5人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人		
事業所職員（職名：施設長 主任 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所1名 入所1名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 9名 ・ 要介護4 10名
要介護3 1名
- ③ 男女比率 男性3名 ・ 女性17名
- ④ 年齢 65歳～102歳 平均88.8歳

介護状況

- ① 起き上がり全介助 名
- ② 胃瘻 0名
- ③ 排せつ全介助 名
- ④ 普通入浴：チェアインバス：ストレッチャー入浴 名：名：名
- ⑤ 肺炎入院 0名
- ⑥ 褥瘡 0名
- ⑦ 重度拘縮 0名
- ⑧ 苦情相談 0件
- ⑨ 身体拘束 0件

⑩ 受診以上の介護事故 1件

1、施設長挨拶

第6回。竹内さんは欠席。コロナが流行してきている。施設内には入っていないので注意していきたい。

2、感染状況

天井走行リフトを導入し、浴槽内に入ることができる方が増えた。

事故：大腿骨頸部骨折で1か月入院し退院。

介護教室

様々な職種が待機

5分できる介護食

家でできるバイタルチェック

介護技術自宅でできる介助方法を伝える

アドバイスができたらと。どなたでのおいでいただきたい。

→市 定員何名か

無制限。町内で案内していきたい。他の施設の運営推進会議でも案内したい。

天井走行リフト導入

足も曲がるようになった職員

3、ユニット活動状況

事故説明

14:30 車いすに座りテーブルのふちをもって立ち上がり、テーブルを支えにした状態で左へ一歩踏み出し歩こうとされる。キッチンにいた職員がそばに行き左わきを支えたが、支えきれず左を下にした状態で床に転倒される。

12月25日入所 認知症重度 立ち上がり

4、意見交換

(地域住民代表): 面会時間は15分か？

→(介護主任): 前後つんでなければゆっくりしてもらっている。

(地域住民代表): コロナ後遺症がでた。めまいがする人がいる

→(市役所): 個人差ある。味覚障害や倦怠感が出る方もいる。長引く方もおられる。

リハビリはするのか

→(介護主任)YouTube をみながら軽体操を実施。

面会は施設の人が立ち会って、家族と話をするのか

→付き添う。間を取りもつことで会話が成立することもある。

市役所 別紙参照

インフルよりコロナが増えている傾向。受診の際は連絡してから受診してほしい。
感染性胃腸炎 吐物から感染。感染力が強い。

口腔衛生の管理

思考にたまっている細菌の数は大腸菌と一緒に。様々な病気を引き起こす。歯周疾患のリスクがある。歯石除去。元気なうちから歯科受診を進めてほしい。寝たきりになってからは対応できる歯科も限られているので元気なうちから受診してほしい。訪問診療が対応できるところが少ない。利用希望があればかかりつけ医に相談。島根県歯科医師会でマッチングしたほうが良い。先生はいても歯科衛生士が訪問しないと対応が難しい。家対応するとできるケアが限られてくる。器具がない。服用の薬の把握も必要。リスクが高い。ワーファリンを服用していたら血が止まらなくなる。

採用のツールとして漫画を作成した。わかりやすいように。各機関に配布している。高校へも持っていく。しおさいの特徴を漫画にした。他との差別化ができて
いる

5, その他

次回予定 令和6年4月4日（金曜日）10時～11時